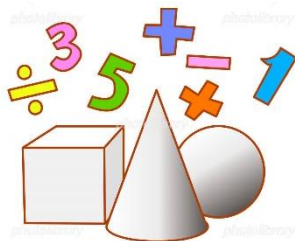


算数好きな子にするために…

皆さんは子どもの頃、算数は好きでしたか？嫌いでしたか？小学生のアンケートによると、苦手・嫌いな教科No.1は「算数」だそうです。また、好きな教科もNo.1は「算数」だとのこと。（学研教育総合研究所（Gakken）『小学生白書 Web版（2018年9月調査）』より）子どもたちの様子を見ていても、なんとなくわかる気がします。



親としても算数好きになってほしいと思われる方が多いのではないのでしょうか。成績や入試等だけでなく、算数は私たちが生きていくためにも欠かせません。そこで、ご家庭でも簡単に算数につながる学びができることを考えてみました。

☆お手伝いをしましょう☆

お手伝いの中には算数がたくさんあります。まずは買い物です。自分で100円握りしめ、駄菓子を買う経験をさせる。（買い物経験が少ないと、おつりの計算が苦手になるようです）一緒にスーパーに行き、5%オフがいくらなのか話題にする。予算いくらでどれだけ買えるのか見積もりをさせる。値上がりの割合がどれくらいだから何円上がったか考えさせる…などなど。次は、料理です。簡単な料理は子どもに任せて作らせてみましょう。料理本の調理過程を読んで作る。（国語の力も育ちます）分量を大さじや計量カップ、キッチンスケールで計る。（単位の勉強に役立ちます）ケーキやピザを等分する。（何等分するか…分数の勉強です）ジュースを同じ量につぎ分ける。クッキーを同じ数ずつ分ける。（わり算ですね）など、生活の中の算数に多く触れることができます。

☆数字遊びをしましょう☆

パッと見て、5までの数字なら答えられるようにしたいものです。手の中に小さなお菓子を入れておいて、何個あるか言う。5個のお菓子を両手で分けて何個ずつか言う。お風呂から出る前に、100数えて上がる。（かけ算の九九暗唱は、よくされたのではないのでしょうか）階段を数えながら上がる。2とびや5とびの数え方を一緒に言う。お出かけの時、すれ違う車のナンバープレートの数字をたし算して答える。（高学年ならかけ算でもいいですし、+-×÷を駆使して10を作

らせる…なども面白い）トランプも数字遊びとしてはいいですね。

☆手先を鍛えましょう☆

小さい頃の経験不足からでしょうか。年々、子どもたちの手先の不器用さを感じられます。遊びながら手先を鍛えるものとしては、先ほどのトランプやオセロ、子どもたちが好きなルービックキューブもいいですね。粘土あそびや積木、パズル、知恵の輪もおすすめです。特に積木は、空間把握能力を育てるには適しています。（空間把握能力は、学校だけではなかなか育ちません）遊びの中で実際に体験するというのが、子どもたちの中では大切です。

☆時計を見て行動しましょう☆

低学年でいつもきまってつまずくのが「時計」です。授業の時間も短く、すぐに定着するというのが難しい学習です。学校では、アナログ時計を見て「今、何時？」とか「〇時〇分まで休み時間です。あと何分ある？」など、日頃から意識できるような声掛けをしています。ご家庭ではいかがですか？リビングにアナログ時計はありますか？子どもたちの苦手意識を減らすためにも、大人の私たちが環境を整えていきましょう。



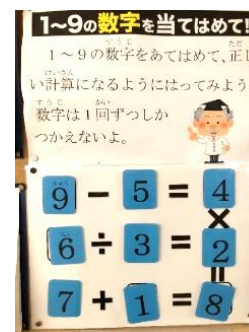
楽しい算数の本やネットでのクイズ、頭を使うパズル問題…など算数好きのきっかけになるものはたくさんあります。春休みを使って、親子で算数遊びをしてみてください。

→算数コーナーの問題→

有意義な春休みにしましょう

春寒ようやくゆるみ始めたこのごろ、子どもたちの服装も軽くなり、運動場で気持ちよく走り回っている姿を多く見かけます。季節はすっかり、春ですね。学校の様子や子ども達の様子を、保護者の方に少しでもお伝えできればと、『算数通信』を1年間出してきました。いかがだったでしょうか。

佐志小学校の子ども達は、素直でとてもかわいい子どもたちばかりです。学力も間違いなく上がってきています。後は、【学習の時間を増やすこと】のみです。春休みは、ゆっくり休むことも大事ですが、次年度の準備の時間でもあります。下のように今の学年



☆☆☆春休みにしておくこと☆☆☆

- ①今の学年の学習のまとめ
（特に国語と算数、苦手な所は今のうちに確実に分かるようにしておこう）
- ②今の学年の教科書やノートの整理
→使うものと使わないものをしっかり分けておきましょう。
- ③新学期の準備
→筆箱の中身チェック！必要な物はそろえておきましょう。



のまとめ&次の学年の準備をしっかりと行い、4月には気持ちよくスタートが

きれるようにし
ましょう。